
岐阜県立飛騨高山高等学校

学 校 長 神出 建太郎

学校住所 (岡本キャンパス) 高山市下岡本町 2000-30 電話 0577-32-5320
 (山田キャンパス) 高山市山田町711 電話 0577-33-1060

- 1 会 議 名 令和7年度 飛騨高山高等学校 学校運営協議会 (第2回)
- 2 開催日時 令和7年10月30日 (木) 10:20～12:15
- 3 開催場所 飛騨高山高等学校 岡本キャンパス 会議室
開催にあたり、委員による「飛騨高山ふるさと企業・OB&生徒交流会」参観を実施した。
- 4 参加者 委 員 荒畑 勝之 高山信用金庫 総務課長 (欠席)
 中澤恵里子 協和紙器
 船場 信幸 J A飛騨ミート 総務部長
 井上 岳洋 岐阜県指導農業士
 飯山 友美 飛騨亭 花扇 (女将)
 高桑眞佐子 高桑内科クリニック
 戸田 柳平 育友会長 (全日制)
 松野 健志 育友会長 (定時制)
 荒井 広樹 部活動後援会長 (通信制)
 井上 守 同窓会副会長 (欠席)
 学 校 側 神出建太郎 校 長
 島田 正幸 副校長 (全日制山田キャンパス)
 小原 誠 副校長 (定時制・通信制)
 葛谷 国博 事務部長
 塚本 和幸 教 頭 (全日制岡本キャンパス)
 奥田 和代 教 頭 (全日制岡本キャンパス)
 中野 輝良 教 頭 (全日制山田キャンパス)
 松本 正人 教 頭 (通信制)
 岩坂 宗 教 諭 (全日制岡本キャンパス・教務主任)
 足立みずほ 教 諭 (全日制山田キャンパス・教務主任)
 三島 卓弥 教 諭 (定時制・教務主任)
 打保友香理 教 諭 (通信制・教務主任)
 水田奈央生 教 諭 (全日制岡本キャンパス・生徒指導主事)
 近藤 泰子 教 諭 (全日制山田キャンパス・生徒指導主事)
 野上 聖子 教 諭 (全日制岡本キャンパス・進路指導主事)
 佐藤 康成 教 諭 (全日制山田キャンパス・進路指導主事)
 柳原 博之 教 諭 (全日制山田キャンパス・農場長)

5 会議の概要 (協議事項)

- (1) 学校説明 (これまでの取組について)

(2) 学校評価について

(3) 飛騨高山高校の未来へのビジョンについて～地域とともに～

- (意見1) 現代社会ではオンラインサービスの発展により、ICT スキルやマーケティング、PR などの知識が不可欠である。しかし、学校教育では十分な学びの機会がないため、地域産品を活用したマーケティングやPR、観光地の課題解決、農業分野の収益性向上などをテーマに、生徒が調査・分析・改善策を考える実践的な学びを取り入れるべきである。こうした取組は、生徒に「稼ぐ力」を育成し、社会に出てから役立つ力を身につけさせるとともに、学校の魅力向上にもつながる。
- (意見2) 高山市内の県立高校間で交流会や合同イベントを増やし、生徒同士のつながりを強化することで、将来的な地域定着や郷土愛の醸成につなげるべき。少子化による統合・再編に備え、学校間のネットワークは地域を守る基盤となる。
- (意見3) 人口減少が進む中、地域の魅力を発信し、移住や就職希望者を増やす取組が重要。特に高校生が卒業後に地元で働きたいと思えるよう、企業と連携して情報提供を強化し、学校も危機感を持って「地元で働く価値」を伝える必要がある。
- (意見4) 企業との交流や体験活動を通じて地域の魅力を伝える学校の取組に感謝している。先生方が生徒一人ひとりに向き合い、成長を支援していることは心強く、少子化の中で学校の存続と魅力向上に向けた努力を今後も継続してほしい。
- (意見5) 生徒が地元に戻り、就職したいと思えるためには、住みやすい街づくりが不可欠。人口減少が進む中、大人が率先して地域の魅力を高め、暮らしやすい環境を整えることが重要。
- (意見6) 本日の交流会は就職希望の生徒にとって非常に有意義であり、地元企業への就職を促す機会となる。

(4) 全体を通して（「ふるさと企業・OB&生徒交流会」の感想を含む）

- (意見1) 企業交流会は非常に有意義で、各企業の分かりやすい説明により新たな学びが得られた。今後は参加企業を増やし、特に地元の中小企業が加わることで、生徒がより多様な業種や働き方を知る機会が広がる。こうした取組の継続と発展を期待する。
- (意見2) 若い企業担当者の熱心な説明や、生徒の積極的な応答が印象的だった。企業交流会は年1回だが、参加企業を増やし、より多くの機会を設けて企業理解を深めるべき。また、高山の良さを伝える取組に感謝し、今後も企業との交流を継続してほしい。
- (意見3) 学校生活を通して母校愛、郷土愛をもつような教育を推進してほしい。
- (学校より) 交流会で説明を聞く企業は生徒の希望によるものではなく、3年間で異なる12企業の話聞けるように計画的に設定している。また、進路ガイダンスでは、希望企業の話聞ける機会も別途設けている。なお、キャリアパスポートを活用し、事前学習にも取り組んでいる。

6 会議のまとめ

第2回学校運営協議会では、今年度のこれまでの取組や学校評価について説明した。さらに、飛騨高山高校の未来ビジョンや地域連携の在り方について意見交換を行い、ICT教育の充実、学校間交流の推進、地域定着に向けた情報発信、企業との連携強化など、具体的な提案をいただいた。今後、これらの意見を学校運営に反映し、教育活動の充実を図る予定である。委員の皆様には、次回は「学習成果発表会」を見ていただき、当校の取組に対する評価と助言をお願いしたい。